

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	すぷらうとこども発達サポート		
○保護者評価実施期間	R8年1月 日		～ R8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	R8年1月 日		～ R8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月18日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・看護師・リハスタッフが常駐しているので、多職種での支援が出来ること。	活動後の振り返りで個々に必要な対応や環境設定を検討・共有している。	事業所内外での研修や勉強会等に参加し、個人のスキルアップを図っている。
2	隣室に学童の児童クラブがあり、土曜日や長期休みに交流している。	健常児と障害児との交流が自然にできるよう、交流機会を設けている。	来年度も交流やイベントを通して、健常な子も障害を持っている子も相互に成長出来るよう支援していく。
3	月に一度、親子遊びを主とし、ふれあいあそび、運動あそび、絵本を見る、散歩などの活動を楽しんでいる。	なかなか親子でじっくり遊ぶ時間がない家庭があるため、ゆったりと遊ぶ時間をとって親子の絆を深めてもらいたいと思い、活動に取り入れている。	親子で遊んで時間は皆笑顔がみられるため、継続していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所から外部への発信が少ない。	時間の有効活用が出来ていない。活動のPRが積極的にできていない。	活動の工夫をインスタやHPで積極的に外部発信していく。
2	重症心身障害児の利用が多い時は、各自のスペースが狭いことがある。	バギーやベッド利用の子が多いため、スペースが必要	活動により広い空間の部屋に移動する、又は限られた場で出来る活動に変更して支援する
3			